

授業科目 ボランティア論

|                |      |    |       |                |
|----------------|------|----|-------|----------------|
| 【担当教員名】<br>山手茂 | 対象学年 | 1  | 対象学科  | 理学・作業・言語・栄養・社会 |
|                | 開講時期 | 前期 | 必修・選択 | 選択・選択・選択・必修・選択 |
|                | 単位数  | 1  | 時間数   | 15             |

【概要及び学習目標】

現代社会が市民生活として成熟するにともなって、保健・福祉・文化など公共の利益を自発的に追求するボランティアが増加している。その意義、歴史、実態などについて事例を通じて学ばせる。

学習目標

1. ボランティアの意義を理解する
2. 専門職とボランティアの関係を理解する
3. 地域のボランティア活動を理解し、参加して体験する
4. ボランティア、ボランティア団体、NPOの関係を理解する
5. 福祉コミュニティ形成のためのボランティアの役割を理解する

| 回数 | 学習の主題 | 学習内容  | 学習方法 |
|----|-------|---|------|
| 1  |       | 国際ボランティア年の意義を考えるー<br>受講者へのアンケート「私のボランティア体験」 |      |
| 2  |       | 専門職とボランティアー教師の体験発表と学生の体験発表                  |      |
| 3  |       | 地域のボランティア活動ーボランティア・センターとボランティア団体の調査方法       |      |
| 4  |       | 地域のボランティア活動ー調査結果の発表                         |      |
| 5  |       | ボランティア団体の事例調査                               |      |
| 6  |       | ボランティア・ボランティア団体・当事者団体・NPOの関連                |      |
| 7  |       | まとめー福祉社会形成のためのボランティアの役割                     |      |

【評価方法】

①体験報告、②調査報告、③期末試験を総合する。

【履修上の留意点】

①出席してアンケートに答えること、②口頭またはレポートで体験・調査結果を報告する、③討論に参加すること、などを求めるので、積極的・主体的に学習してほしい。

【使用図書】

| 教科書・参考書別 | 書名                         | 著者名 | 発行所 | 発行年・価格・その他 |
|----------|----------------------------|-----|-----|------------|
|          | 参考書を随時紹介する。<br>毎時間教材を配布する。 |     |     |            |